

令和3年度 白川郷学園音楽科研究構想

【音楽科での児童生徒の実態】

○表現及び鑑賞の各活動に対して、音楽のよさや楽しさを感じながら意欲的に取り組むことができる。

△音楽的な見方・考え方を働かせ自分の考えに根拠をもったり、他者と協働しながら音楽表現を生み出したりすることに弱さが見られる。

【学校教育目標】

ひとりだち

自立 共生 貢献

【音楽科で今後求められるもの】

- ・感性を働かせ、他者と協働しながら、音楽表現を生み出したり音楽を聴いてそのよさや美しさなどを見いだしたりすること。
- ・音や音楽と自分との関わりを築いていけるよう、生活や社会の中の音や音楽の働き、音楽文化についての理解を深めること。

【白川郷学園で求められる児童生徒像】

- ①自立・・・意欲的に学び、より質の高いものを自ら求め続ける子
- ②共生・・・対話的に学び、仲間と協力して活動する子
- ③貢献・・・深く学び、仲間・地域のために行動する子

【研究主題】 「先を読む力」を発揮し、学びを加速させる姿を目指して

【全教育活動を通して育てたい資質能力：先を読む力】

先を読む力とは、児童生徒が主体的に問題解決の方法を生み出していく力である。この力は、教師が手立てを与えすぎずの中では培われることはない。全教育活動を通して、児童生徒が、これまでに身に付けた既習内容や生活経験、様々な見方・考え方を駆使して、仲間との対話をしながら試行錯誤する営みを繰り返す中で、培われるものであると捉えている。

【音楽科で願う子どもの姿（「先を読む力」を発揮している姿）】

音楽的な見方・考え方を働かせて自分の考えや学習の見通しをもち、仲間と協働しながら主体的に取り組むことができる姿。

【研究内容・具体的な手立て】

(1) 主体的に問題を見いだす導入の工夫	(2) 自ら解決方法を生み出す学習活動の工夫	(3) 自己の学びを自覚する終末の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ・表現及び鑑賞の各活動において、音楽的な見方・考え方を働かせることができる子を育てるために、音楽を聴いて自分の頭に浮かんだ情景やイメージは、「音楽を形づくっている要素」の何が根拠となっているのかを提示する。 ・教師の比較範唱や録音、適切範唱を聴かせることで、憧れや「もっと～～したいな」という思いから、自分の考えやゴールの姿を導き出させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師による意図的な中間発表の場を設定することで、他の小集団の音楽表現の創意工夫を知覚、感受させる。 ・小集団での対話や、音楽表現を試行錯誤する営みを繰り返すことによって、新しい視点に気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一単位時間または題材間での自己の学びの変容や深まりを実感させるために、終末において、仲間との協働的な学びを個で振り返る場を設定する。 ・仲間同士で学びの変容や深まりを共有するために、全体交流の場を設定する。

第 1 学年 音楽科学習指導案

日 時 令和3年10月11日（月）
場 所 ふれあい体育館
授業者 稲葉 恵弥子

- 1 題材名 「せんりつで よびかけあおう」
- 2 本時のねらい （2/6）

呼びかける人とこたえる人で強弱や声の出し方を工夫し、山びこのようになる表現にしようと思いをもちることができる。

本時における「先を読む力を発揮して、学びを加速させている姿」
強弱や声の出し方をペアの仲間と工夫して考え、タブレットの録音を聴きながら試行錯誤している姿。

3 本時の展開

過程	主な学習活動	指導・援助（・） / 〈研究内容〉
導入	<p>1 帯活動、前時までの復習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お名前リレー ・「やまびこ ごっこ」を教師と交互唱 <ul style="list-style-type: none"> （1回目）強弱なし→呼びかけとこたえを復習（板書） （2回目）強弱あり→「山びこ」のようになることに気付かせる <p style="margin-left: 40px;">(T) 今、先生が小さく歌ったら、みんなも小さく歌ったよね。どうして真似したの？</p> <p style="margin-left: 40px;">(S) だって山びこだもん！</p> <p style="margin-left: 40px;">(T) なるほど、「やまびこ ごっこ」って歌だもんね。</p>	<p>※学級担任から、「山びこ」について事前指導をしてもらう。（種まき）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「呼びかけ」と「こたえ」を黒板に位置付けることで山びこのイメージと「音楽を形作っている要素」との関わりを意識できるようにする。〈研究内容1〉 ・導入時、教師が強弱を工夫した範唱で児童と交互唱をすることで、強い声の呼びかけには強くこたえ、弱い声の呼びかけには弱くこたえることが、山びこらしい歌になることに気付かせるようにする。そうすることで、どの児童も個人の考えをもったりゴールの姿を導き出したりできるようにする。〈研究内容1〉
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>学習課題 やまびこ の ように なる ように、くふう しよう</p> </div> <p>2 ペア活動（前半） ペア同士で個人の考えを交流した後、相談しながら工夫する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山びこだから、呼びかける人が大きな声（小さな声）で歌った時は、こたえる人も大きな声（小さな声）で歌うといいと思うな。 <p>3 中間交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな声で歌うときは、遠くへ向かって声を出すといいと思うな。 ・小さな声で歌うときは、内緒話をするみたいに声を出すといいと思うな。 <p style="margin-left: 20px;">(+α) 「まねするな」のところは、少し怒った感じで声を出すといいと思うな。 …（歌詞に合った声の出し方の工夫）</p> <p style="margin-left: 20px;">(+α) 山びこだから、こたえる人は全部少し小さな声にするといいと思う。 …（課題を意識した工夫）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペア活動に入る前に複数の児童を意図的に指名し、その子の考えを板書することで、その後のペア活動の見通しをもつことができるようにする。 ・中間交流では、教師が意図的に抽出したペアが発表する場を設け、強弱表現とそのための声の出し方に注目できるようにする。〈研究内容2〉 ・ペア活動後半では、「確かめゾーン」において自分たちの工夫をタブレット（スピーカー）で録音、確認することがいつでもできる環境を作る。そうすることで、中間交流で聴いた他ペアの工夫と自分たちの工夫を比べ、主体的に試行錯誤できるようにする。〈研究内容2〉 ・「確かめゾーン」には、立ち位置シールを貼っておく。（音楽室・生活科室）
終末	<p>4 ペア活動（後半） 前半とは役割を交代して行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思ったよりも、声が大きく（小さく）ないぞ。もう少し遠くへ向かって、大きさに声を出してみよう。（声の出し方、強弱） ・声が小さすぎると聞こえないぞ。もう少し声を出してもいいな。（強弱） <p>5 各ペアの発表と良さ見つけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山びこみたいになるように、呼びかける人が大きな声（小さな声）のときは、こたえる人も大きな声（小さな声）で歌いました。（強弱） ・大きな声で歌うときは、遠くを見て口に手を当てて歌うと、山びこみたいになることが分かりました。（声の出し方） ・〇〇さんのチームのこたえる人が、呼びかけの人の声よりも少しだけ小さな声で歌っていたのがよかったです。（課題を意識した工夫） 	<ul style="list-style-type: none"> ・終末に発表の時間をつくり、工夫したことを言葉で話したり強弱や声の出し方によって表現したりする場を設けることで、自己の学びを振り返ることができるようにする。また、他ペアの発表を見て良さ見つけをすることで、仲間の学びの変容や深まりを共有することができるようにする。〈研究内容3〉
		<p>【評価規準】 山びこのようにしようと、呼びかける人とこたえる人で強弱や声の出し方を工夫し、どのように表現するかについて思いをもっている。【思考・判断・表現】（発言内容・観察）</p>

4 題材のねらい

知識及び技能	曲想と音色、旋律や呼びかけとこたえとの関わりに気付き、歌声や発声に気を付けて歌ったり簡単な旋律をつくったりする技能を身に付けられる。
思考力、判断力、表現力等	旋律の呼びかけ合いが生み出すよさや面白さを基に、声の出し方や旋律のつなげ方について思いをもったり、曲全体を味わって聴いたりできる。
学びに向かう力・人間性等	友達どうして旋律の呼びかけ合いを意識して歌ったり旋律をつくったりする学習や、呼びかけ合う旋律に注目して音楽を聴いたりする学習に楽しんで取り組むことができる。

5 本題材における「先を読む力を発揮して、学びを加速させている姿」



「やまびこ ごっこ」でやった「よびかけとこたえ」をつかって、おんがくを作ったり、おともだちとおはなししたりすることができたよ。それから、いろんな音楽に「よびかけとこたえ」が出てくることが分かったよ。おともだちと、呼びかけたりこたえたりしたら、たのしかったよ。

6 指導計画

時	学習課題	ねらい
1	よびかけあつてうたおう (歌唱)	曲想 (山びこのイメージ) を感じ取り、友達どうして呼びかけとこたえの表現を楽しんで歌うことができる。【知識・技能】
2 (本時)	やまびこ の ように なるように、くふう しよう (歌唱)	呼びかける人とこたえる人で強弱や声の出し方を工夫し、山びこのようになる表現にしようと思えることができる。【思考・判断・表現】
3	3つのおとを えらんで せんりつをつくらう (創作)	音のつなげ方の特徴に気付き、[(たん)(たん)(たん)(うん)] の旋律をつくる技能を身に付けることができる。【知識・技能】
4	おはなしするように せんりつをくみあわせよう (創作)	呼びかけとこたえの表現の仕方を工夫し、旋律のつなげ方について思いをもつことができる。【思考・判断・表現】
5	みみをすまして よびかけとこたえの せんりつをみつけよう (鑑賞)	呼びかけとこたえそれぞれの旋律や、トランペットやバイオリンの音色に注目し、楽しんで音楽を聴くことができる。【主体的に学習に取り組む態度】
6	よびかけとこたえの せんりつにあう からだのうごきを かんがえよう (鑑賞)	呼びかけとこたえそれぞれの旋律に合う体の動きを工夫して、曲全体を通して聴くことができる。【思考・判断・表現】